

単元名	6 いにしへの心を訪ねる 一源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語	配当時間	1時間
単元の目標	(1) 漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読することができる。 冒頭部分の現代語訳を読んで、「無常観」を感じ取ることができる。 (3) 進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとする。		

標準的な展開例

11210215_001

【準備等】源平合戦の絵図、地図、琵琶の写真、国語指導CD、再生機、平曲（平家琵琶）CD、DVD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「平家物語」の冒頭部分を音読し、文語文独特の調子やリズムや表現に慣れる。</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★「平家物語」について知り、冒頭部分を朗読しよう。</p> <p>○ 「平家物語」のあらすじを理解する。</p> <p>○ 冒頭部分の範読を聞く。</p> <p>○ 冒頭部分を繰り返し朗読する。</p> <p>○ 現代語訳を参考にしながら、朗読する。</p> <p>○ 「平家物語」の特徴やものの見方、世界観についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「平家物語」に登場する義経、弁慶、清盛、義仲について、知っていることを発表させたり、平曲を聞かせたりすることで関心を高めたい。 ・重要な人物(清盛、義経、義仲、弁慶など)、有名な場面(義経の鶴越、敦盛の最後、壇ノ浦の戦い)について、資料を用いながら説明する。 ・教師による範読か、国語指導CDを利用し、歴史的仮名遣いや文の区切り、古文特有の言い回しに注意させながら聞かせる。 ・冒頭部分を読むことで、「平家物語」独特の和漢混淆文のリズムや対句表現などを体感させたい。 <p>【評】繰り返し朗読する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原文、現代語訳ともに、比喻表現に着目させる。 ・冒頭部分に描かれている「無常観」について感想をまとめさせる。 <p>【評】感想をまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】

古文や漢文には、それぞれ時代やジャンルなどによる特有の調子やリズムなどがあり、それが古典としての魅力を支える要因の一つにもなっている。また、古典には、現代に通じるものの見方や考え方のほかに、現代とは違った、あるいは現代人は忘れてしまったものの見方や考え方などが描かれている。現代語訳や関連する資料等も参考にしながら、昔の人の心に触れ、古典の世界を楽しみながら、今を生きる自分たちを振り返るきっかけとしたい。

言語活動としては、その特徴をつかんだ朗読を通して古典に親しんだり、読み取った内容を伝え合わせたりして、より古典の世界を味わわせたい。